

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 263045-14000				担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)			
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>中村ゼミでは「会計を通じて企業を知る」をテーマとしている。特に企業が公表する有価証券報告書等の資料を用いることで、定量的・定性的にその企業の戦略とその成果を明らかにし、さらにはその将来像を見通すことができる。こうした分析は株式投資におけるファンダメンタル分析にも繋がる。</p> <p>そこで、本ゼミではゼミ生各々が自分の興味がある企業を選択し、その企業を1年間かけて詳細に分析を行う。そして年度末にはそれを報告書としてまとめることとする。特に本年度は、各自が自分の興味がある企業について実際に投資を行う。こうした実践により「専門的知識を用いて情報収集・分析をすることができる職業人」を育成する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
資料収集やデータ入力および分析のためにPC必携とする。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「会計学1・2」、「財務会計1・2」「管理会計」、「経営分析」を履修することが望ましい。									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
<p>(i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容が理解し、説明できる。</p> <p>(ii) 対象とする企業を分析した報告書を作成できる。</p> <p>(iii)</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
川島健司(2021)『起業ストーリーで学ぶ会計』中央経済社									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>大手町のランダムウォーカー(2020)『世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA</p> <p>青木茂男編著(2016)『要説 経営分析 (五訂版)』森山書店</p> <p>会社四季報編集部(2020)『得する株をさがせ! 会社四季報公式ガイドブック』東洋経済新報社</p> <p>各年度版『会社四季報』東洋経済新報社</p>									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容	有価証券報告書等の基本的な構造や内容を具体的な企業例と共に説明できる。	有価証券報告書等の基本的な構造や内容を自らの言葉で説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料等を見ながら説明できる。	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料および教員の支援を受けて説明できる	有価証券報告書等の基本的な構造や内容について、資料および教員の支援を受けても説明できない
(ii) 対象とする企業を分析した報告書の作成	作成された報告書が、今後の投資の指針となり得るレベルに達している。	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、新たな視点とともに明らかにされている	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、ニュースなどで報道されている内容とリンクする形で明らかにされている	財務諸表のデータと企業戦略や株価との関連が、テキストや参考書に掲載している分析方法に沿って明らかにされている	テキスト等に掲載している分析方法をなぞる形であっても、報告書が完成できない。
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				70%	30%			100%
(i) 有価証券報告書等の基本的な構造・内容				35%	15%			50%
(ii) 対象とする企業を分析した報告書の作成				35%	15%			50%
(iii)								
フィードバックの方法	作成したレジュメや報告書等は授業中に適宜コメントを付ける							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
企業分析だけではなく、自らの資産形成に役立つような形としたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)	
1	ガイダンス	積極的に経済分野のニュースを読む	60分
2	決算書とは	損益計算書、貸借対照表について、その構造や内容を概観しておく	60分
3	決算短信・有価証券報告書、会社四季報、会社財務カルテを入手してみよう	積極的に経済分野のニュースを読む	60分
4	日経テレコンを利用してみよう	図書館で日経テレコンを利用し、自分が気になる企業の記事をさがしてみる。	60分
5	会社四季報を読む① (成長株・割安株・復活株)	会社四季報で自分が興味のある企業を調べる	60分
6	会社四季報を読む② (財務状況のチェック)	会社四季報で自分が興味のある企業を調べる	60分
7	決算短信・有価証券報告書を読む① (全体の構成)	決算短信・有価証券報告書を入手し概観する	60分
8	決算短信・有価証券報告書を読む② (P/L)	損益計算書を概観し、特徴を探る	60分
9	決算短信・有価証券報告書を読む③ (B/S)	貸借対照表を概観し、特徴を探る	60分
10	決算短信・有価証券報告書を読む④ (C/S)	キャッシュ・フロー計算書を概観し、特徴を探る	60分
11	株価指標とは① (PBR)	興味のある企業の PBR を計算する	60分
12	株価指標とは② (PER)	興味のある企業の PER を計算する	60分
13	成長株をさがす (ROE と ROA)	興味のある企業の ROE、ROA を計算する	60分
14	投資してみたい企業を探す	興味のある企業の中から、実際に投資してみたい企業を選択する	60分
15	前期まとめ (分析対象企業の発表)	分析対象とした企業を選択した理由を考えておく	60分
16	後期ガイダンス	資料の収集と分析の準備を進める	60分
17	収益性分析	対象企業の収益性を分析する	60分

18	安全性分析	対象企業の安全性を分析する	60分
19	生産性分析	対象企業の生産性を分析する	60分
20	成長性分析	対象企業の成長性を分析する	60分
21	時系列分析	対象企業の収益性・安全性・生産性・成長性を時系列で見ておく	60分
22	業界平均との比較	対象企業と業界平均との差を見ておく	60分
23	報告書の作成・発表①	データを表やグラフにまとめる	120分
24	報告書の作成・発表②	定性的データを収集する	120分
25	報告書の作成・発表③	報告書の分析視角から構成を決める	120分
26	報告書の作成・発表④	報告書の本論を執筆する。	120分
27	報告書の作成・発表⑤	報告書の本論を執筆する。	120分
28	報告書の提出	報告書を完成させる。	120分
29	報告書発表会①	各自の報告書を発表するための原稿作り	120分
30	報告書発表会②	各自の報告書を発表するための原稿作り	120分

⑫ アクティブラーニングについて

協同学修型 AL を採用する。テキスト及び会社四季報・有価証券報告書を読み、レジユメにまとめて報告する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性